

(論 説) ○日本産魚類の一新種 (田中)

## ●日本産魚類の一新種

理學士 田 中 茂 穂

左に掲ぐる魚類は學術上新種なるべし

*Chloea senbei*, n. sp.

(Gobiidae.)

センバハセ、オシヤラクドンカ(水戸市外千波湖、稀、雄ならん)  
ゴロ(常陸龍ヶ崎)。

體長(尾鰭を除ける)は頭長の三倍九分の一、體高の四倍三分の二なり、頭長は眼徑の四倍二分の一、兩眼間隔の九倍、吻長の三倍五分の三、上顎骨の二倍二分の一、尾柄の高の四倍なり、第一背鰭は八棘、第二背鰭は十軟條、臀鰭は十軟條、胸鰭は二十一軟條、尾鰭の分枝軟條十四個より成る、鱗は一縦列に於て凡七十二個、一横列に於ては凡二十個なり。

體は延長し、稍側扁せり、頰部は著く膨出せざるも鰓蓋部に於て著く膨出せり、頭部の切面は四角形を呈せず、眼は僅に上方に斜に向ひ、兩眼間隔頗狭く、凹形を呈す、舌の先端は凹形なり、胸鰭は稍長く、後方鋭き圓形を呈す、腹鰭は癒合して板狀を呈せるも體に癒着することなく、稍長く胸鰭後端に達するも臀鰭に達すること頗遠し、尾鰭は稍長く、後縁圓形を呈す、鱗は小形の櫛齒鱗にして、不規則に排列す、頭部及第一背鰭より前部の項部は全く無鱗なり、腹鰭の前方の胸部にも亦鱗なし。

ホルマリンに浸せる色彩は黒灰色(之れ黒灰色の小點の集れるより成れるものなり)にして所々に稍大なる暗褐色の點稍密に不規則に散在す、體側中線に沿ひ稍大なる黒褐色點一列に排列す、但此小點は數個宛相接せる爲等距離を以て排列せるに非ず、凡八個の淡黄色の横線あり、體の下方は淡色なり、頭部も亦體の地色と同じく黒褐色にして、眼の前下部より前下方に向ひ斜に走れる幅の廣き褐線あり、鰓膜は黒色を呈す、二背鰭胸鰭及尾鰭には褐色點の數列あり、二背鰭は暗色を呈せる爲、斑紋稍不明瞭なり。

大正五年四月水戸市外千波沼に於て水戸博物學會々員及余之を採集す、全長尾鰭先端に至る迄測りて七二耗、成熟せる雌なり。

同日採集せるものゝ内、體の頗瘠せ、生殖器萎縮せるものあり、形態色彩共に前記のものと同様のものならんと考ふ、之れ生殖の終れるものならん、其形態の重なる特質を左に述べし、尾鰭先端に至る迄測りて六三耗のもの。

體長(尾鰭を除ける)は頭長の三倍、體高の六倍八分の一なり、頭長は眼徑の五倍三分の一、兩眼間隔の八倍、吻長の三倍九分の一、上顎骨の二倍二分の一、尾柄の高

の三倍九分の五なり、第一背鰭は八棘、第二背鰭は十一軟條、臀鰭は十一軟條、胸鰭は二十一軟條、尾鰭の分枝軟條十三個なり、鱗は一縦列に於て凡六十五個、一横列にては凡七十七個(或標品にては二十個あり)、頭幅は體幅よりも著く廣く、鰓蓋部も亦然り、頰部は稍膨出せり、腹鰭は稍長きも胸鰭後端に達せず、ホルマリンに浸せる色彩は灰色(之れ灰色の小點の群集より成る)にして、暗褐色の點稍密に不規則に散在す、體側中線に沿ひ稍大なる褐色點一列に排列す、但此點は數個宛相接せる爲等距

## 抄錄

## ● 龜及蜥蜴類の網膜に及ぼす

## 光線の影響

DEWILDER, S. R., — "The Effect of Light on the Retina of the Tortoise and Lizard." ("Jour. Exp. Zool.," XX, 2, 1916.)

實驗の方法としては二頭の材料を二十四時間暗室中に閉ぢ込め、其中一頭は此時間を經過してから取り出し、六時間日光を直射せしめ、他の一は同時間或は尙ほ六時間暗室中に留めて置いて後殺したのである。目を取り出して固定するに際して、前者は日光直射の下に、後者は赤色光の下に速かに手術を行つたのである。

離を以て排列せるに非ず、此列より下方は白色に近く且斑點なし、眼の前下部より前下方に向ひ斜に走れる稍幅の廣き褐線あり、鰓蓋部は上部は灰色にして、後上方に向へる暗線あり、下部の大部は白色なり、二背鰭胸鰭及尾鰭は褐色點の數列あり、二背鰭の邊緣は白色を呈せざるも胸鰭の後縁は白色にして、尾鰭の後縁も亦極て幅の狭き白色帯をなす、腹鰭は暗色にして、後縁幅の頗狭き白色帯をなす、臀鰭は基部帯暗色にして、大部は稍暗色の度を増せり、其遊離縁は幅の狭き白帯をなす。

從來米國産の龜及蜥蜴類の網膜の構造に關する研究は至つて貧弱なので、著者は先づ視細胞の解剖上の形態を観察したのである。而して此結果と及實驗の結論を總括すると左の如くである。

(一) 龜類 (*Chelopus insculptus*, *G. guttatus* 及 *Chrysemys picta*) 及蜥蜴 (*Sceloporus undulatus*) の網膜には棒狀體を缺く。

(二) 龜及蜥蜴の桿狀體は兩者の間に異點はあるが夫々單一なるものと重複せるものとの二種あり。

(三) 光線は兩者の網膜に色素の移行と桿狀體の收縮を起さしむる。龜に於る色素移行の範圍は平均三 $\mu$ にして、蜥蜴に於ては三・一 $\mu$ を算す。又桿狀體が收縮する範圍は龜にて平均二・三 $\mu$ である。又色素膜の各細胞は約二